

## 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の一員であることを職員全員に意識させ、積極定期に地域に出ていく	地域の方々と色々な活動を通して話す機会を増やし、地域の方々との交流を増やしている
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の朝礼時に全員で基本理念を読み上げている	基本理念に地域の一員であるということを取り入れていく
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	医療や介護に関する正しい知識について理解していただけるよう取り組んでいる	<input type="checkbox"/> 地域の活動、行事に参加する 夏祭り、地域の防犯パトロール、避難訓練を実施
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	第一、第三月曜日に地域の自治会長をはじめ、民生委員の方々と地域内の防犯パトロールをしている。	<input type="checkbox"/> 施設内の開放(会合や自治会会議など)を行い、地域の方に使用していただいている
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	知己の祭りの参加、近隣の一人暮らしの方の見守り、学生の学習体験などの交流	<input type="checkbox"/> 火災時の協力、利用者様の徘徊などの声かけ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進委員会を二ヶ月に一回 利用者様とご家族の方に参加をお願いし、月一回の全体スタッフ会議での話し合いをしている	○	地域の見守り時に高齢者の方々に声かけを行い、生活面などに役立つ事はないか話しを聞く
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ホーム運営理念に基づいて全職員が改善に向けて努力している	○	家族との情報交換を行いホームでの生活内容を認識し工夫しながら取り組んでいる
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域と、ご家族の方や利用者様の意見や希望を聞き入れている	○	
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる			
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している			成年後見制度については学ぶ機会を持ち、市町村との連携を取り入れていく
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	過去にそのような事例が当施設ではありません。しかし、今後も注意を払い防止に努めます	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> <p>運営理念を利用案内時の説明文書や重要事項説明書、パンフレット等に明記し玄関ホールに掲示し常に家族との面談を心がけている</p>	○	入居される利用者様の面談や施設案内を行いながら不安を感じさせないよう取り組んでいる
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> <p>利用者様の不平、不満等は その都度話を聞き入れて信頼関係ををるようにしている</p>	○	利用者様のご家族にも連絡を取り合いながら安心した生活ができるようにする
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> <p>月一回 文書で家族へ報告している</p>	○	利用者様の健康状態においては、常に連絡を取るようになっている
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> <p>玄関ホールに意見箱を設置している</p>	○	苦情対策などの研修に参加している
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> <p>全他スタッフ会議をしている</p>	○	問題発生時には早急に話し合いを行うようにしている
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> <p>職場の勤務調整に努め早急に対応するようにしている</p>	○	状況変化に合わせてスタッフ会議をしている
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> <p>職員同士のコミュニケーションを計りながら、利用者様の不安を取り除く</p>	○	声かけをしながらきょうりよくしている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員全員が研修を受けるように確保している	○	職員同士の勉強会、研修会でのレポート提出
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	連絡を取り合い訪問し情報交換を行っている互いの刺激を保つ	○	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	レクリエーションなどを定期的に行っている	○	ボーリング大会、ビアガーデン等
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	実施している	○	レポート、勤務表の提出
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者様から何かしらの訴えがあった場合は利用者様が納得されるまで話を聞き、スタッフ全員で話し合い、対応していく	○	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者様の面会時や、急を要する場合には電話等で話を聞きスタッフ全員で話し合い、対応していく	○	利用者様の状況変化がみられるために、この先家族会で話し合う機会を実施する

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面談時に家族の要望を聞き入れている	○	家族と本人の希望を聞き入れて納得いく対応をしている
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	これまで使用してきた家財道具を可能な限り受け入れ、職員や利用者全員による自己紹介や声かけから慣れていただき、ホームでの流れに慣れていただけるよう声かけを多くしていく	○	職員の声かけを多くし、家族とのコミュニケーションを図る
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者様の人生経験や、生活での知恵を聞き学んでいる	○	生活の中の手伝いで今と、昔の違いなど会話によってできている
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面談により家族と一緒に生活面の不安を聞いている	○	雑談の中で家族の不安を取り除く
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者様とご家族の話聞く	○	ご家族の面会時と利用者様の声かけを多くする
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の方々や、知人等に声かけをし、できる範囲で面会や電話での連絡をしてもらっている	○	家出使用していた物や、写真などをホームに持ってきていただいている
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	なるだけ全員で使用するホールで生活していただいている	○	趣味を取り入れながらの他の利用者様とのコミュニケーションを大切にする

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他の施設に移動されても環境に馴染むまで様子を見に行くように心がけている	○	家族の方と一緒にグループホームの行事に参加していただくように声かけをする
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	スタッフ会議を行っている	○	カンファレンスや職員の確実な情報伝達ができるようにしている
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居される前に家族に話しを多く聞いている	○	入居前後に家族の方の面談を行い利用者様の生活を把握している
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の申し送りを必ずしている	○	日誌の記入と申し送りノートを活用している
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	三ヶ月に一回 介護計画書を作成している	○	作成前にケアマネと面談を行い 納得した計画を立てるようにしている
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	必ず見直しを行い作成する	○	職員同士の話し合いを行った後、関係者との話し合いをもっている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	話し合い、検討し、スタッフ全員に周知徹底するようにしている	○	すべての職員の気づいた点や意見を取り入れ、計画の内容を把握する
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の要望を聞き入れ、臨機応変に対応している	○	個々の趣味を生かした生活支援(手芸、園芸、生け花、音楽療法)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域との交流、ボランティアとの交流	○	月二回の地区内の民生委員との見守り、近隣の火災時の声かけ、学生ボランティア、地区の祭りへの参加
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている			
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	支援センターから二ヶ月に一回職員の方に運営推進委員会に参加していただき、その中でアドバイスをいただいている	○	必要に応じて支援センターを訪問し、相談を行う
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	同敷地内クリニックへの定期受診 ご家族が希望される方は医療受診の支援	○	心身の変化や異常発生時に気軽に相談できる医療機関が同敷地内にある

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	家族の希望により専門医へ受診したり、二週間に一度の定期受診	○	医師との関係を築きながら相談している
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	日常の職員との会話の中で相談しながら支援していく	○	日々バイタルチェック、利用者様個人の記録の中で申し送り
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	医療機関との情報交換につとめている	○	利用者様のサマリー交換や常に職員が面会するようにしている
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族の要望を聞き入れホームとの話し合いで方針を共有している	○	利用者様の体調を把握しながら、ご家族と連携を取り話し合いをしている
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	主治医との連携を取っている	○	こまめに情報を得て、主治医の意見を聞き入れご家族に連絡をとっている
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ご家族が見学に行かれ、納得した上で十分な話し合いを行う	○	ご家族との連絡を取り合っている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者様のプライドを傷つけない言動に心がけ、職員全員が個人情報保護の誓約書を作成し、厳重に管理している	○ 常に言動に注意している
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	一人ひとりが安らぎを感じ、自己表現が自然にできる空間、雰囲気作りをしている	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしい生活が出来るように心がけている	利用者様第一で考えている
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	朝の身だしなみ、日中に着衣や髪型の乱れを伝え、整えられるよう支援している。 理容、美容院は月に一度時間をもうけている	○ つきに一度移動理容室か来る 本人が希望されれば職員が洋服を買いに行く
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮むき、もやしの根とり、片付けなど手伝ってもらっている	○ 野菜切り、味見、配膳などの手伝いを行う
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	個人での外出時や、面会時におやつ類を買ってこられ、居室で味わっている	正月以外の少量の酒以外は飲んでいない タバコは禁止している

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	毎日の排泄チェック表により排泄パターンを把握	○	食事の前にはトイレ誘導をし、排泄リズムを作っている
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	個々のペースに合わせている	○	本人の希望や体調に合わせている
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	できるだけ夜はぐっすり休んでいただくように日中は活動していただいている 疲れている時は休息を促している	○	レクリエーション、散歩、畑へ野菜を取りに行ったりする
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人の力を引き出しながら役割を持つことで生活の張りが出てくるようにしている	○	食器洗い、園芸、掃除、洗濯物たたみ、広告で箱を作ったり、折り紙による貼り絵作成
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	「おこづかい」をいう形で事務所で管理しているが、希望があれば本人と家族の判断で紛失しても問題ない金額を所持している	○	利用者様の必要品は家族と連絡を取り合い、月一回くらい買い物に行くようにしている
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	行事内容を工夫して、なるべく外出するよう心がけている	○	バスで出かけたり、弁当を作って公園などに遊びに行く
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	西都やフラワーフェスタなどの花の見学時に社会福祉協議会の福井市バスを利用し家族も参加してもらえよう声かけをしている	○	家族との交流

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人希望によりいつでも電話、手紙のやり取りができるよう接している	○	家族が安心するように、本人が生活を葉書を利用して伝えている
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	玄関をオープンにしておき、いつでも気軽に訪問できるようにしている	○	職員も一緒にお茶を飲みながら楽しむようにしている
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしない事について職員は理解している	○	拘束に関する研修会等に参加し、正しく理解している
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関には鍵はかけていない	○	事務所で出入りをチェックしている 外出の際は職員やご家族が必ず付き添う
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は常に利用者様を見守りしやすい場所に居るようにしている	○	常に職員は利用者様の側で作業をしている
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者様の状態に応じて職員が管理している	○	義歯、薬、爪きり、はさみなど
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	常に職員間の申し送り等で、利用者様の状態を把握し、一人一人に合った介護に取り組んでいる。 職員全員、利用者様も参加した火災訓練を実施している	○	研修会などに参加し、知識を身につけ、実践するようにしている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	併設のクリニックや、救急隊の方の指導を受けている	○	スタッフ会議や、日常の業務中にわからない事は話し合っている
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	全員参加の火災訓練を行っている	○	年2回消防関係の方に来ていただき、避難時のアドバイスや地域の方への協力を依頼している
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族と常に連絡を取り合っている	○	起こりえるリスクについてご家族に十分に説明している
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	主治医との連携を取り、家族と連絡を取り対応している	○	重度化や入院を防ぐ為に、体調の変化やサインを記録している
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	指示薬の服薬管理を行い様子観察をしている	○	用法や用量について薬剤情報提供書をよく読み理解に努めている
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	できるだけ繊維の多い食べ物の摂取に心がけている	○	毎日のラジオ体操 施設内外の散歩
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	歯磨き、入れ歯の手入れ、出血や炎症のチェックを行っている	○	毎食後の口腔ケア 自分で出来ないところは声かけをする

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による献立以外に個々の健康状態により一日の水分量とバランスを保っている	○	栄養士による献立
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成し主治医との連携を取り、すばやく対応出来るようにする	○	感染予防に対応するマニュアル作成
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日新鮮な食材を利用している	○	毎日使用する分だけの食材を納品してもらい、使い切っている
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	環境整備週間があり、職員が建物周辺を清潔にたもち、常に花が咲いているようにしている	○	利用者様との花壇作り
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な共有空間をとりいれて玄関周辺、施設周辺に花や木を植え、駐車場から玄関へ気軽に入れるように工夫している		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	親しみやすい雰囲気作りを心がけている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを 活かして、本人が居心地よく過ごせるような工 夫をしている	居室については利用者様が使い慣れた品を持ってきていた だき居心地のいい空間作りをしている	○	
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換 気に努め、温度調節は、外気温と大きな差が ないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめ に行っている	換気や温度調整は職員がこまめに行っている	○	定期的に空調機の掃除をする
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし て、安全かつできるだけ自立した生活が送れ るように工夫している	利用者様の身体機能の低下に合わせた設備の工夫をして いる	○	浴室、浴槽、トイレ、廊下の手すりの設備 段差のないフローア
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失 敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫してい る	常に職員が声かけを行っている	○	
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだ り、活動できるように活かしている	外周の草花の手入れを一緒にしてもらったり、花を眺めたり している	○	外回りの花壇を利用者様の家族の方が草取りや花植えな どに参加されている

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ※ 地域の方々との交流に力を入れている
- ※ 利用者様との車での外出を月一回している
- ※ 季節の食べ物を食材として利用している